



小川 隆史議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** スポーツ・文化交流センターの運営は

**A** 現燦ぱれすの指定管理者の活用を図る



その他の質問

- ・令和4年度当初予算について
- ・保育関連施設の業務改善について

**Q** 教室・講座等への市内講師陣の積極的採用はできるか。

**A** 指定管理者候補者からは、教室を担当する講師等、幅広い業務で市民を優先的に採用し、地域経済の活性化を図るとの提案があり、積極的に取り組まれるものと考えている。

**Q** 現在、燦ぱれすの運営をされている指定管理者を引き続き活用できるか。

**A** 指定管理者候補者からは、ひこね燦ぱれすの現管理者へ協力を依頼することを提案されているので、これまでの経験やノウハウを活用いただけるものと考えている。



▲建設中のスポーツ・文化交流センター



長崎 任男議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 彦根市の除雪予算は充分なのか

**A** 除雪・排雪の方針を予算に反映したい



その他の質問

- ・ペイペイ30%キャッシュバックの経済効果は
- ・今後の予算方針について
- ・何を削って何の歳入を増やすのか

**Q** 昨年12月26日未明からの強い寒波を伴う降雪は、観測史上初の災害級の

豪雪となり、市内の幹線道路や生活道路は交通渋滞のため完全にストップした。そんな中、市立病院前のくすのき通りではどのような問題が起きていたのか。

**A** この渋滞は市立病院への救急搬送に大きな影響を与えたと認識している。本市の対応として、清掃センターや委託業者の大型車両により集中的に除雪作業を行ったほか、消防・市立病院・都市建設部・歴史まちづくり部・上下水道部職員が出動し手作業による除雪作業やスタック車両の支援を終日行い、当日夕方に通行障害は解消した。

**Q** 彦根市の除雪対策予算は充分か。

**A** 今回の大雪を受け、除雪、排雪の体制構築等方針がまとめられれば予算においても反映したい。



▲年末の市立病院付近のくすのき通りの様子



赤井 康彦議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 除雪作業を雪の少ない県中部等の市外業者にも委託できないか

**A** 課題は多いが幅広く検討していく



その他の質問

- ・空き家の実態調査結果は
- ・彦根市スポーツ・文化交流センター寄附金の現状は
- ・彦根シティマラソンは実施しないのか

**Q** 市内の除雪委託業者の数にも限りがある。比較的雪の少ない滋賀県中部や南部の市外業者に委託できないものか。

**A** 除雪路線への到着に時間がかかるなど課題も多いが、市外業者への委託も含め幅広く検討していく。

**Q** 除雪用機械の補助を3年くらいの期間限定とした上で3分の2補助にすることで、高価である除雪機が購入しやすくなるとともに、購入することで自治会の役割等が明確になるのではないかと思うがいかがか。

**A** 財政的なこともあり見直しは難しい。

**Q** 12月27日(月)9時から警戒本部設置というのは危機意識の薄さではないかと思うが、この時間帯が適切であったのか。

**A** 降雪・積雪や渋滞状況、情報収集や職員の登庁時間等、様々な状況を加味した上で対応しており、問題ない。



▲市内雪山の状況(令和4年1月6日)



安澤 勝議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** コロナ禍での対面、オンラインのハイブリッド授業の対応は

**A** 市外の学校や先進校の取組を参考にし、実践研究を進めていく



その他の質問

- ・市長は令和4年度本市独自の経済対策は考えないのか
- ・オンライン授業で授業内容が習得されているか

**Q** 家庭の判断でコロナ感染を危惧して学校へ行かせないと判断されるケースもあると思う。対面、オンラインのハイブリッド授業での対応は。

**A** 対面とオンラインによるハイブリッド授業を行うには、学習の進め方の見直しやオンライン授業の機器操作の技術の習得なども必要となる。また、現在ハイブリッド授業をしている学校は、教室の後ろや教卓上に教員端末を置いて配信し、子どもたちは授業に参加している。授業を受ける児童生徒の映り込みによるプライバシーへの配慮も必要となり、事前に保護者への説明と了承を得ておく必要があるなど綿密な事前準備が必要となる。今後、市外の学校や先進校の取組を参考にし、実践研究を進めていく。



▲ハイブリッド授業の様子





中川 睦子議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 保育士・幼稚園教諭等の処遇改善は  
公立も含めて予算化すべきでは

**A** 本市職員への適用は困難であると  
判断した



その他の質問

- ・学校での感染予防と対策について
- ・スクールサポートスタッフの勤務時間について
- ・一人暮らしの高齢者の居住環境について

**Q** 教育・保育関連の施設・事業所は何か所あるか。

**A** 認可保育所は公立3園、民間23園。幼稚園は公立8園、民間1園。認定こども園は公立1園、民間2園。他の小規模保育事業所等は6園。放課後児童クラブは17小学校で業務を3事業者に委託している。

**Q** 2月からの全てのケア労働者に対する処遇改善の周知はされているか。

**A** 保育関係は全施設へ要綱配布で周知と申請するように通知し、児童クラブは説明会を開いた。

**Q** 現時点で処遇改善のための申請はすべてできているか。

**A** 民間の保育関連施設は全園から実施計画書が提出され、児童クラブ1事業者は見送られた。

**Q** 公立も対象として予算化すべきでは。

**A** 国が示す改善方法が本市に合致せず、平均給与額も高いことから今回改善を見送った。



伊藤 容子議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 11月議会市長答弁の事業費削減  
の達成状況は

**A** 令和4年度予算は過去最大だが、  
3億7千万円削減は評価している



その他の質問

- ・市庁舎耐震工事の「無駄遣いの責任の徹底追及」について
- ・新ごみ処理施設の処理能力について
- ・ヤングケアラーについて

**Q** 11月議会で市長は「事業費の削減は前市長の中期財政計画と同程度の25億円削減が必要」と答弁したが、25億円削減は諦めたのか。

**A** 既に着手した事業の削減は予想以上に厳しかった。

**Q** 本予算は、市の貯金や資産を削りながらの事業遂行であり、財政問題の先送りである。市長公約「未来の子ども達にツケを残さない」とあるが見解は。

**A** 当初各部署の要求を25億円削減したが、既存事業等の影響を考え10億円復活し、過去最大の予算規模となった。3億7千万円の事業見直しを行いバランスはとれた。

**Q** 前市長からの予算フレームが変わっていない本予算は、今年度からしっかり削減に取り組むべきでは。

**A** 次年度以降は、システムや委託事業、補助金等についても見直し、財政健全化に努める。

